2017年11月22日

各　　位

会 社 名　関東電化工業株式会社
代表者名　代表取締役社長　長谷川淳一
（コード番号 4047　東証第 1 部）
問合せ先　法務・総務部マネージャー　上原佳浩
（TEL.　03 － 3257－ 0371 ）

2018年3月期 第2四半期決算説明会資料

当社では、本日11月22日、機関投資家・証券アナリスト向けに2018年3月期 第2四半期決算説明会を開催いたします。

2018年3月期 第2四半期決算の概要、今後の業績見通しについて説明いたしますが、その資料を添付いたします。

以　上

2018年3月期

第２四半期決算説明会

関東電化工業株式会社

2017年11月22日

説明内容

1. 2018年3月期　第2四半期決算の概要

2. 業績の見通し・今後の動向

※増減率を除き、表示単位未満は切り捨てて表示

事業セグメント

名　　称		内　　容
基礎化学品事業	無機製品	か性ソーダ、塩酸、次亜塩素酸ソーダ、塩化アルミニウム等
	有機製品	トリクロールエチレン、パークロールエチレン、塩化ビニリデン、シクロヘキサノール等
精密化学品事業	フッ素系製品	六フッ化硫黄、四フッ化炭素、三フッ化メタン、六フッ化エタン、三フッ化窒素、ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエン、八フッ化プロパン、六フッ化タングステン、四フッ化ケイ素、三フッ化塩素、八フッ化シクロブタン、モノフルオロメタン、硫化カルボニル、五フッ化ヨウ素、六フッ化リン酸リチウム、ホウフッ化リチウム等
鉄系事業	鉄系製品	キャリヤー、マグネタイト、顔料、鉄酸化物等
商事事業	関電興産㈱	化学工業薬品の販売および容器整備、保険代理店業務等
設備事業	㈱上備製作所	工場プラント建設、工場設備保全工事等

関東電化グループ（連結子会社）

（単位：百万円）

	資本金	出資比率%	2017年上期個別売上高	対前年同期増減	主要な事業内容
関電興産（株）	10	100.0	3,085	278	化学工業薬品の販売および容器整備、保険代理店
（株）上備製作所	120	49.4	2,952	863	化学工業用設備の製作・加工・修理
森下弁柄工業（株）	27	98.2	441	8	鉄酸化物の製造販売
関東電化KOREA（株）	3 億ウオン	90.0	4,977	837	フッ素系製品の販売
台湾関東電化股份有限公司	7 百万NTドル	100.0	2,346	224	フッ素系製品の販売
合計			13,803	2,210	

連結決算のポイント

（単位：億円）

	2016/9	2017/9	差額
売上高	213	241	28
営業利益	40	41	1
純利益※	27	29	2

※親会社株主に帰属する四半期純利益

（1）売上高増加（＋28億円）
- 基礎化学品事業部門は、前年同期並み（＋0.1億円）
- 精密化学品事業部門は、販売数量の増加により増収（＋21億円）
- 鉄系事業（＋0.1億円）、商事事業（＋1.6億円）、設備事業（＋4.5億円）

（2）営業利益増加（＋1億円）
基礎化学品事業部門（△2億円）、精密化学品事業部門（＋4.億円）
鉄系事業（＋1億円）、商事事業（△0.2億円）、設備事業（△1.1億円）

基礎化学品事業部門

（単位：億円）

	2016/9	2017/9	差額
売上高	28	28	0
営業利益	0.6	△1.4	△2.0

【売上高】
- か性ソーダ・・・販売数量の増加と価格修正効果により増収。
- 塩酸・・・販売数量の減少により減収。
- トリクロールエチレン・・・販売数量の減少により減収。
- パークロールエチレン・・・販売数量の増加により増収。

【営業利益】
- 原材料費用の増加により減益。

精密化学品事業部門

（単位：億円）

	2016/9	2017/9	差額
売上高	153	174	21
営業利益	35	39	4

【売上高】
・三フッ化窒素・・・販売価格は低下したものの、販売数量の増加により増収。
・六フッ化タングステン・・・販売数量の増加により増収。
・六フッ化リン酸リチウム・・・販売数量の増加により増収。

【営業利益】
・原材料費用と固定費は増加したものの、増収効果により増益。

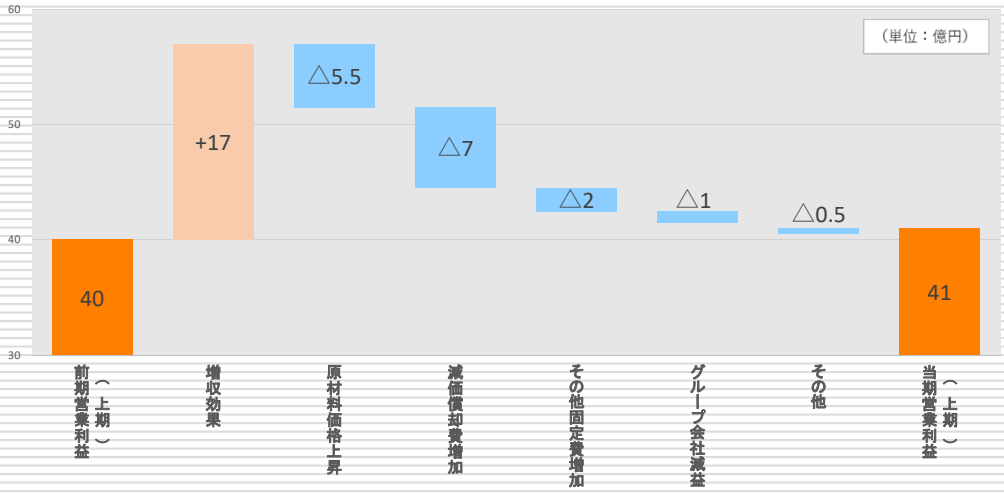
鉄系・商事・設備事業部門

（単位：億円）

	2016/9	2017/9	差額
売上高	31	38	6
営業利益	4	4	△0

【鉄系事業】
キャリヤーの販売数量は減少したものの、新規製品への切り替えと鉄酸化物の販売増加により増収。
【商事事業】
連結子会社である関電興産の化学工業薬品の販売増加により増収。
【設備事業】
連結子会社である上備製作所の請負工事増加により増収。

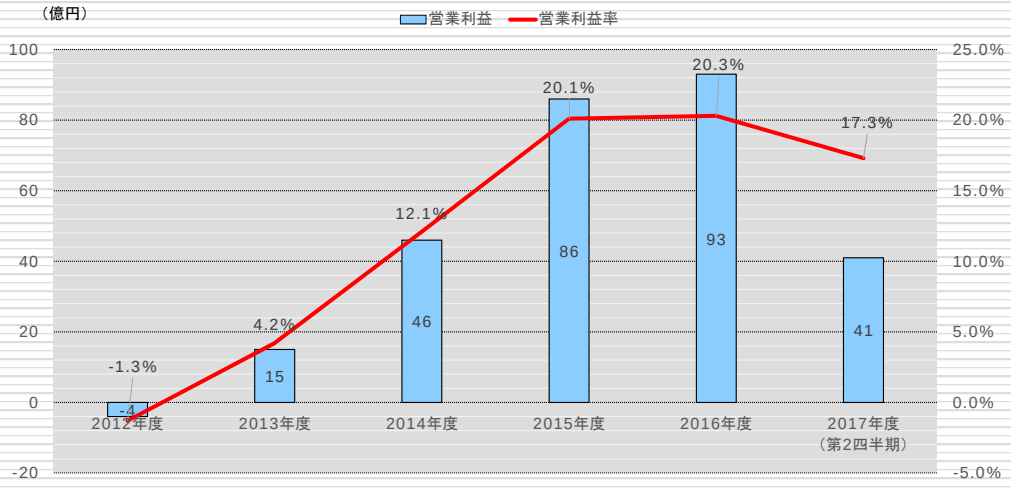
連結営業利益差異分析(2016/9 対 2017/9)



関東電化工業株式会社

9

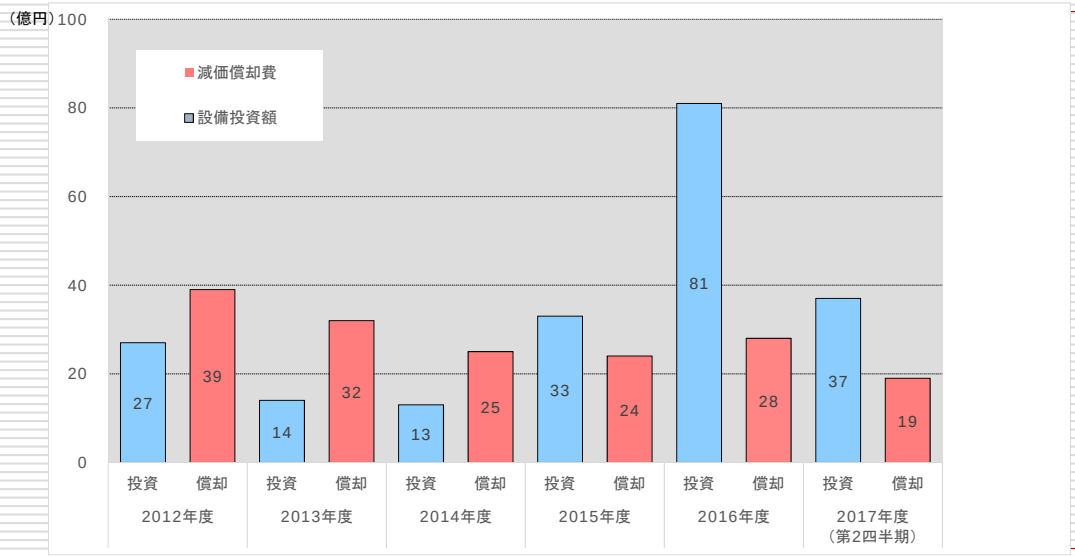
営業利益と営業利益率の推移(連結)



関東電化工業株式会社

10

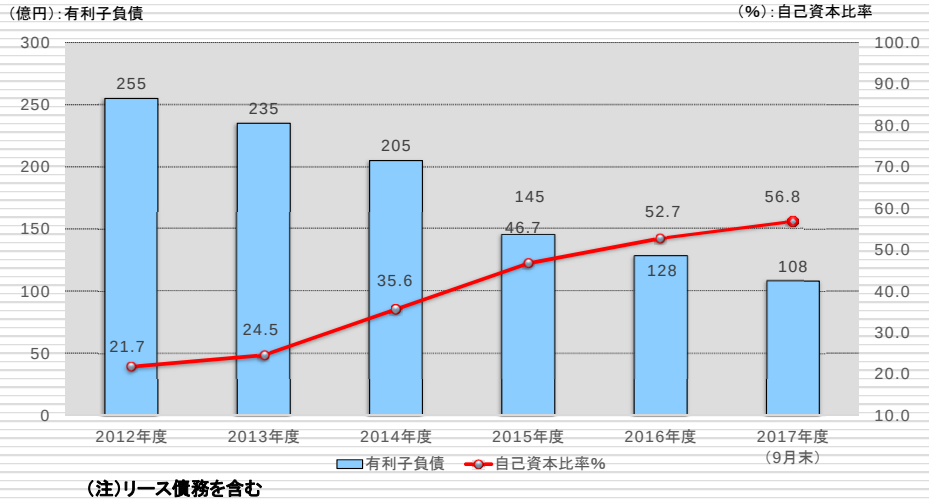
設備投資・減価償却費の推移（連結）



関東電化工業株式会社

11

有利子負債・自己資本比率の推移（連結）



（注）リース債務を含む

関東電化工業株式会社

12

説明内容

1. 2018年3月期　第2四半期決算の概要
2. 業績の見通し・今後の動向

セグメント別業績予想（連結）

（単位：億円）

	売上高			営業利益		
	2016年度 実績	2017年度 当初見込	見直し後 見込	2016年度 実績	2017年度 当初見込	見直し後 見込
基　礎	59	61	60	1	1	0
精　密	329	385	372	82	65	69
その他※	71	74	75	9	4	6
合　計	460	520	507	93	70	75

設備投資費	81	69	64
減価償却費	28	48	44
研究開発費	12	12	12

※その他には、鉄系事業、商事事業、設備事業および連結調整を含みます。
※為替レート見込：110円/$

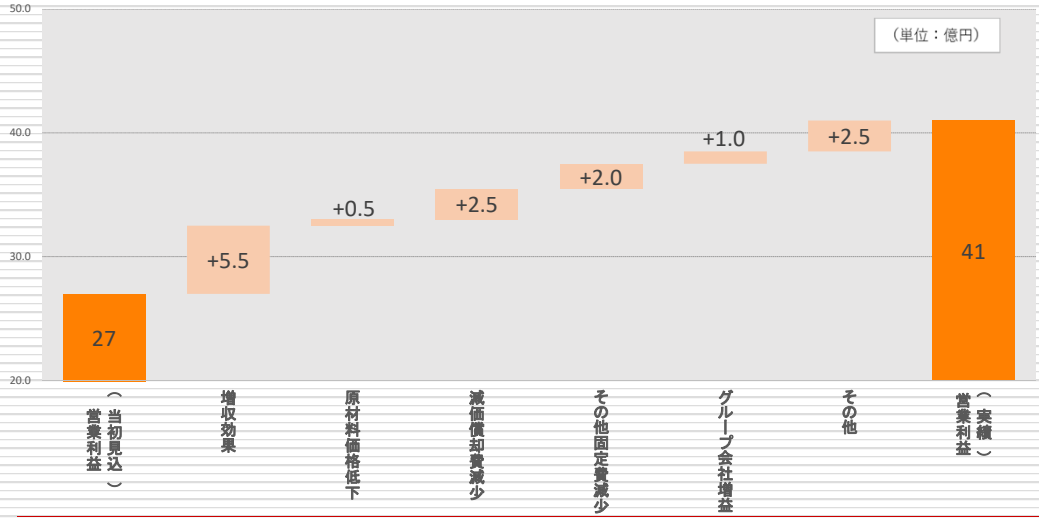
セグメント別業績（連結） 上期当初予想と実績の差

（単位：億円）

	売上高			営業利益		
	上期 当初見込	上期 実績	差額	上期 当初見込	上期 実績	差額
基　礎	29	28	△0	△1	△1	△0
精　密	176	174	△1	25	39	14
その他※	40	38	△1	3	3	0
合　計	245	241	△3	27	41	14

※その他には、鉄系事業、商事事業、設備事業および連結調整を含みます。

連結営業利益差異分析(上期当初見込 対 上期実績)



セグメント別業績予想（連結） 下期当初予想との差

（単位：億円）

	売上高			営業利益		
	下期 当初見込	下期 見直し	差額	下期 当初見込	下期 見直し	差額
基　礎	32	31	△0	2	1	△0
精　密	209	197	△11	40	29	△10
その他※	34	36	2	1	2	1
合　計	275	265	△9	43	33	△9

※その他には、鉄系事業、商事事業、設備事業および連結調整を含みます。

セグメント別業績予想（連結） 上期下期比較

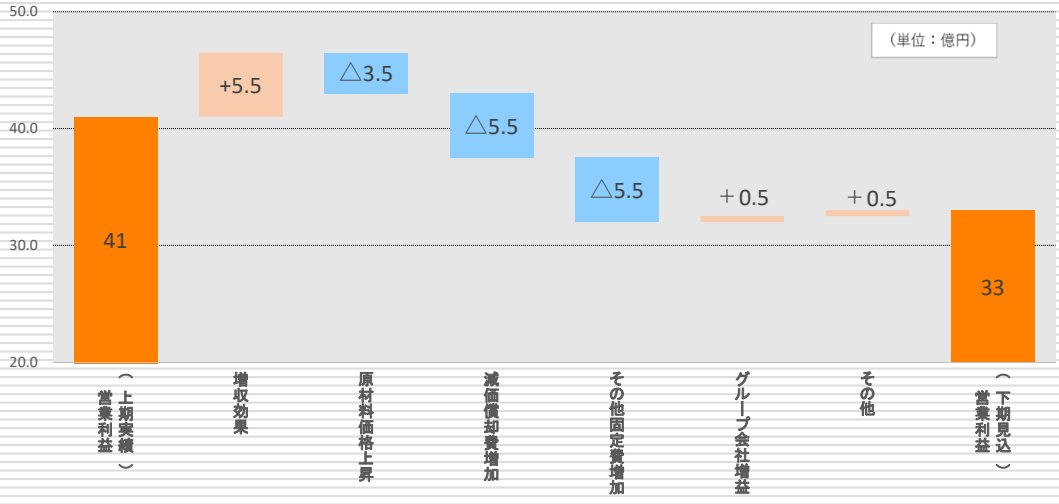
（単位：億円）

	売上高			営業利益		
	上期実績	下期見直し	差額	上期実績	下期見直し	差額
基　礎	28	31	3	△1	1	2
精　密	174	197	22	39	29	△10
その他※	38	36	△1	3	2	△1
合　計	241	265	24	41	33	△8

設備投資費	37	27	△10
減価償却費	19	24	5
研究開発費	5	6	0

※その他には、鉄系事業、商事事業、設備事業および連結調整を含みます。

連結営業利益差異分析(上期実績　対　下期見直し)



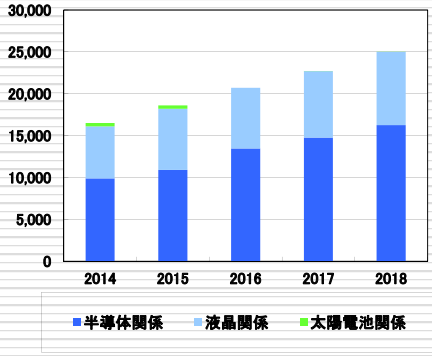
関東電化工業株式会社

19

―主な製品の見通し―　三フッ化窒素(NF3)

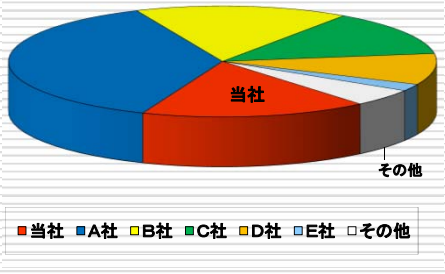
- 半導体・液晶製造プラズマCVD装置のチャンバークリーニングガス。
- 製造能力　3,500t/年　⇒　3,700t/年(2018年8月予定)

【需要動向(2017年度以降は予想)】



【現在のシェア予想】

当社シェアは約2割



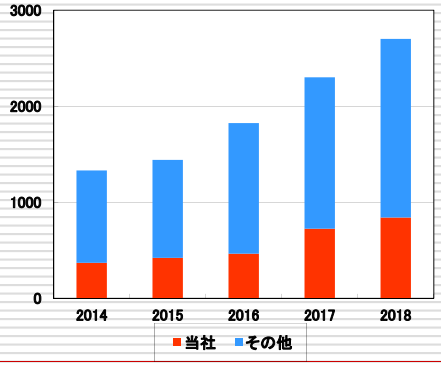
関東電化工業株式会社

20

－主な製品の見通し－六フッ化タングステン(WF6)

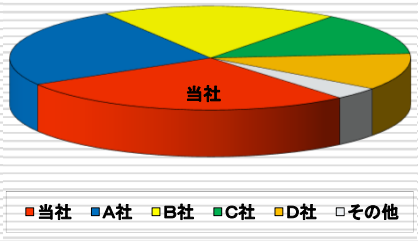
- 半導体用配線材料ガス。
- 需要の拡大に対応するため増設。
- 生産能力300t/年　⇒　720t/年（2016年11月）　⇒　840t/年（2017年08月）

【販売数量（2017年度以降は予想）】



【現在のシェア予想】

当社シェアは約3割



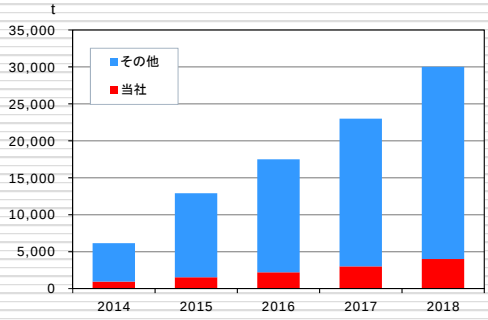
関東電化工業株式会社

21

－主な製品の見通し－六フッ化リン酸リチウム（$LiPF_6$）

- リチウムイオン二次電池の材料である電解質。
- EV等の車載向け需要が本格化。
- 現在の製造能力は5,400t/年

【需要動向（2017年度以降は予想）】



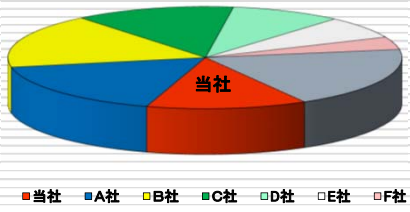
【現在のシェア予想】

当社シェアは1割台半ば

車載用電池

電池特性、安全性等の要求が強い

高品質のLiPF6が必須となる



関東電化工業株式会社

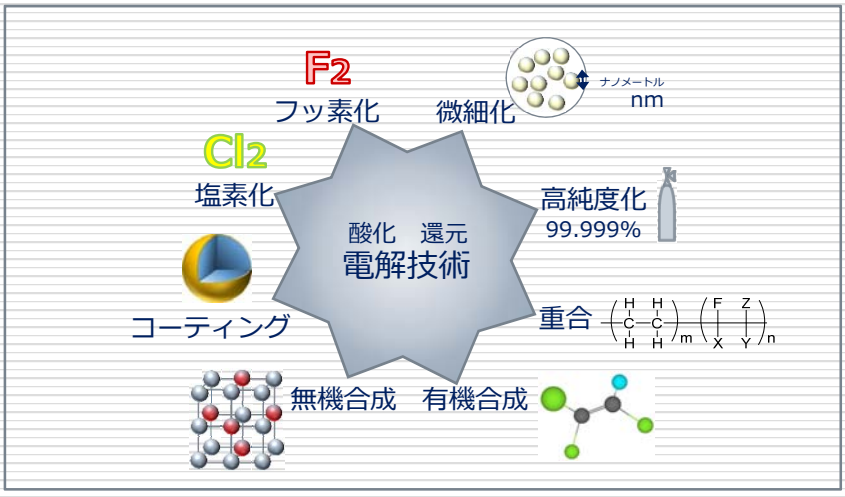
22

韓国生産拠点設立

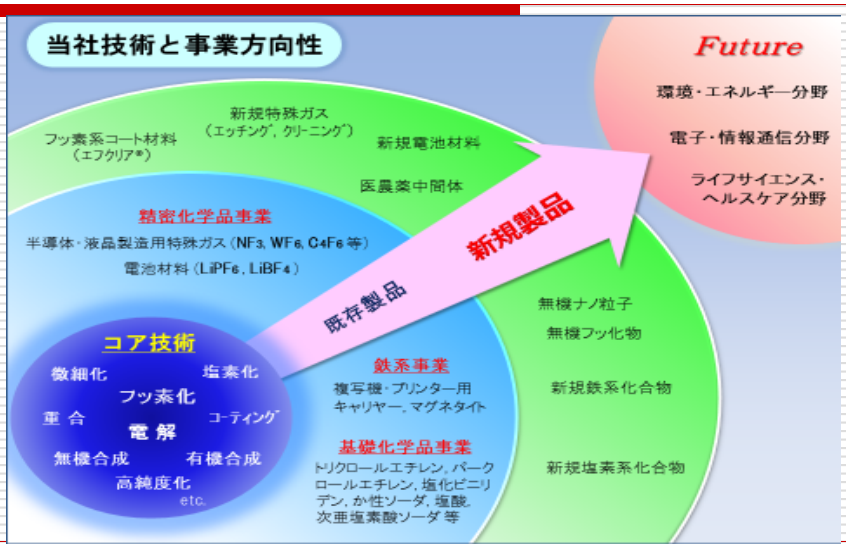
現地法人の概要

①商号	関東電化ファインプロダクツ韓国株式会社
②所在地	大韓民国忠清南道天安市
③主な事業内容	半導体・液晶用特殊ガス類の生産ならびに同ガス類の研究・開発
④設立時資本金	20億ウォン（稼働までに200億ウォン投資予定）
⑤出資比率	当社100%
⑥工場稼働予定	2019年度中

当社のコア技術



創造的開発型企業へ



注意事項

- 本資料は、金融商品取引法等のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なります。